

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	公共交通ネットワーク保全のための道路施設における適確な老朽化対策（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～平成31年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	那覇市												
計画の目標	公共交通ネットワークの老朽化対策として、モノレール軌道を構成するインフラ等の定期点検及び修繕、更新を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	55	A	55	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		2019年度当初		2019年度末
1	公共交通ネットワークの老朽化対策としてモノレール軌道を構成するインフラ等の補修・更新率を0%(2019年度当初)から10%（2019年度末）まで拡大する。 モノレール軌道を構成するインフラ等の補修・更新率を算出 (Σ モノレール軌道を構成するインフラ等の補修・更新済み箇所数/ Σ モノレールを構成するインフラ等の要補修・更新箇所数) $\times 100$	0%	%	10%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	沖縄	那覇市	直接	那覇市	市町村	修繕	牧志23号（モノレールインフラ）	インフラ部修繕 63径間、2	那覇市	■					36		策定済	
	A01-002	道路	沖縄	那覇市	直接	那覇市	市町村	修繕	泉崎牧志線（モノレールインフラ）	インフラ部修繕 31径間、1	那覇市	■					19		策定済	
												小計						55		
												合計							55	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	公表の方法

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	モノレール軌道を構成するインフラ等の定期点検及び修繕、更新を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

公共交通ネットワークの老朽化対策を推進するため、未完了路線においては継続して整備を推進する。
--

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	10%
	最終実績値	0%
		関係機関との協議遅れにより整備進捗に遅れが生じた。

(項)社会資本総合整備事業費 (目)防災・安全社会資本整備交付金 箇所図

計画の名称	公共交通ネットワーク保全のための道路施設における適確な老朽化対策(防災・安全)		
計画の期間	2019年度～2019年度 (1年間)	交付団体	那覇市

